

宝鋼新日鉄自動車鋼板有限公司(BNA)の開業

11月8日、当社と宝山鋼鉄株式会社(総経理 艾宝俊)およびArcelor社が昨年上海に設立した自動車鋼板合弁事業「宝鋼新日鉄自動車鋼板有限公司」は、工場敷地内にて開業式を開催した。開業式は、中国中央政府、上海市の政府関係者およびルクセンブルグ、日本、フランスの大使、総領事の出席のもと、中国主要日系自動車メーカーの各幹部をはじめとする約500名の来賓が参加した。宝鋼新日鉄自動

車鋼板有限公司は、昨年7月に会社設立の認可を得た後、昨年末から順次ラインを立上げ、既に一部自動車向けを含む営業生産を開始している。

当合弁事業は、中長期的な成長が見込まれる中国の高級自動車鋼板需要に応えるため、日中欧のトップ3社が中国で設立した合弁会社で、中国で初めて本格的な自動車用高級鋼板を供給する会社。来年からのフル生産を目指し、品質と生産効率の向

上を主眼に立上生産を続ける。

これにより、新日鉄は、中国市場を含む世界の主要地域での供給体制が整え、グローバル展開する自動車メーカーへの対応をさらに充実し、中国の鉄鋼および自動車産業の発展にも大きく貢献していく。



開業式で挨拶する三村社長
(左は司会の宗岡専事長)

お問い合わせ先
総務部広報センター
TEL 03-3275-5021

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所 第二高炉の改修工事着工

新日鉄プラント・環境事業部は、11月中旬より、(株)神戸製鋼所加古川製鉄所第2高炉(3次改修)の現地据付工事を本格的に開始する。加古川製鉄所と神戸製鉄所の生産体制強化の一環として、3基ある加古川製鉄所の高炉のうち、現在休止中の第2高炉を新たに炉容積を5,400m³に拡大改修し、稼働中の第1高炉(炉容積4,550m³)とのスィッ

チを計画している。

今回の拡大改修にあたり、今年4月、プラント・環境事業部は、炉頂装入装置・炉体構・炉体冷却システム・鋳床を含む高炉本体設備および排熱回収等の周辺付帯設備の設計・製作・据付工事一式を受注。これは、プラント・環境事業部の5,000m³を超える大型高炉の豊富な建設実績(5,000m³を超える大型高炉建

設は今回を含め6基目)に加え、炉容拡大改修の高い技術信頼性、銅ステーブや炉底ステーブ等の炉体冷却システムに代表される最先端の技術を駆使した省エネルギー・長寿命化提案が高く評価されたことによる。

プラント・環境事業部では、高炉を主力商品の一つと位置付けており、今後とも新日鉄社内および日本国内外の高炉改修・

建設に積極的に対応し、高炉事業基盤の強化に注力していく。

【加古川製鉄所第2高炉概要】

炉容積：旧第2高炉(休止中) 3,850m³ 新第2高炉 5,400m³
スケジュール：2005年11月中旬 現地据付工事開始
2007年3月末 火入れ準備完了

お問い合わせ先
総務部広報センター
TEL 03-3275-5023

新日鉄化学(株)九州製造所に建設中のフレキシブル回路基板材料「エスパネックス」の新工場が竣工

新日鉄化学(株)では、九州製造所内に建設中だった電子材料事業の主力商品であるフレキシブル回路基板用無接着剤銅張積層板(2層CCL)「商品名：エスパネックス」の新工場を竣工した。第6系列が7月1日に営業運転を開始し、第7系列も12月に営業運転を開始する。

「エスパネックス」はこれまで、木更津製造所において生産能力の増強を重ね、現在、第5系列までが営業運転を行ってきた。新工場が加わることで累計

生産能力は850万m²(年間)となり、世界トップの供給体制をさらに強固なものにした。また、2拠点体制により安定供給体制の確立と自然災害等による設備トラブルのリスク分散も実現した。

今後、韓国・中国・台湾をはじめとするアジア各国や、欧米各国における携帯電話の高機能化の進展などを背景に一層の需要増加が見込まれるため、第8、9系列の建設についても九州製造所構内の立地を有力候補として検討を進めている。



お問い合わせ先
新日鉄化学(株) 経営企画本部総務部 TEL 03-5759-2741

新日鉄グループ第1回技能トライアスロン大会を開催

11月17日、新日鉄グループ全体で初となる技能トライアスロン大会を八幡製鉄所において開催した。新日鉄グループ技能トライアスロンとは、機械補修の三大技能である「工事」「仕上げ」「ガス溶断・電気溶接」を要する

7種目(課題)を制限時間内で完了させる基礎工事の鍛錬競技会。新日鉄グループの機械補修を専門とする30歳以下の若手が各所より3名程度選抜(今回参加者23名)され、日頃の技能を競い合った。

お問い合わせ先
総務部広報センター TEL 03-3275-5027



エコプロダクツ2005 地球と私のためのエコスタイルフェア

12月15日(木)～17日(土)
(10:00～17:00) 東京ビッグ
サイト(有明)で「エコプロダクツ
2005」が開催される。この展示
会では、エコプロダクツの最新
情報の提供と、企業・自治体・
大学・消費者・NGOのさまざま
な活動の紹介や交流が行われる。

新日鉄では、高耐食性鋼板「ス
ーパーダイマ」と「水素社会へ
の取り組み」を斬新なデザイン
で展示する。

会期：2005年12月15日(木)～
17日(土) 10:00～17:00
会場：東京ビッグサイト
東展示場 4・5・6ホール

主催：新エネルギー・産業技術総
合開発機構、(社)産業環境管理協
会、日本経済新聞社

後援：経済産業省、環境省、国土
交通省、農林水産省、厚生労働省、
東京都 ほか

URL
<http://www.nikkei.co.jp/events/eco/>



ブースイメージ

お問い合わせ先
環境部
TEL 03-3275-6099

鉄づくりの原点から ものづくりの未来へ ものづくり体験「たたら製鉄」などを実施

新日鉄では、「ものづくり教育」
に関する社会貢献プロジェクト
の試験的取り組みとして、もの
づくり体験「たたら製鉄」を実
施した。実験操作のサポート、
砂鉄・使用資材(耐火煉瓦：黒
崎播磨株)の提供、製鉄所見学、
たたらマニュアル『みんなのた
たらの新・モノ語り』提供等
による協力を行っている。

講師は、これまで当社各製鉄
所でもたたら実験についてご協
力いただき、教育現場での出張
授業でも実績のある東京工業大
学永田和宏教授。

11月5日には、大阪府茨木市立
南中学校で、11月13日には(財)
日本科学技術振興財団・科学技
術館で「たたら製鉄」の実体験
を行った。

また、11月11日には杉並区立
高井戸中学校で行われたナレ
ジフォーラム(*)で新日鉄グル
ープの鈴木金属工業(株)副社長
の杉浦登氏が講師を務め、生徒
や先生方の高い関心を得た。

お問い合わせ先
総務部広報センター
TEL 03-3275-5027



大阪府茨木市立南中学校



東京都杉並区立高井戸中学校



科学技術館(東京都・北の丸公園内)



(財)日本科学技術振興財団会長の有馬朗人氏(左から2人目)も視察。

*ナレジフォーラム：フォーラム21(1987年設立。毎年、
約30名の人々が幅広い分野の企業および官庁から派遣され、
国家的なテーマを題材に勉強会を重ねている。新日鉄および

新日鉄グループからも参加)OBおよび現役の講義希望者が
講義可能なテーマ等を登録し、各学校の要望に応じて社会人
臨時講師として教壇にたち、子供たちに授業を行うもの。

紀尾井ホール(財)新日鉄文化財団 12月～1月主催・共催公演から <http://www.kioi-hall.or.jp>



12月9・10日 紀尾井シンフォニエッタ東京 第52回定期演奏会
指揮・Vn: コリヤ・ブラッハー
曲目: ベートーヴェン「ヴァイオリン協奏曲
二短調Op.61」ほか

15日 Bravissimo! クリスマス・ガラ・コンサート
～世界に翔く新日鉄音楽賞受賞者たち～
出演: 長谷川陽子(Vc) 服部謙二(Vn)、
田部京子(Pf) ほか
曲目: クライスラー「美しきロスマリン」ほか

20日 日本音楽のかたち(19)
「日中琵琶の調べ」【邦楽】
出演: 解説/徳丸吉彦(放送大学教授)
藤田治子(武蔵野音楽大学教授)
芝祐靖(雅楽琵琶・排簫) 劉西峰(中国琵琶) ほか
曲目: 天平琵琶譜の復元演奏「番假崇」
「塞上曲」(中国琵琶) ほか

1月25日 邦楽、西洋と比べれば(19)
「口説き」【邦楽】
出演: ゲスト/齋藤孝(明治大学教授)
音先案内人/竹内道敬
中道ゆう子(ソプラノ)
清元栄志太夫(浄瑠璃) ほか
曲目: モーツァルト歌劇
「ドン・ジョバンニ」より
“お手をどうぞ”

“おいで窓辺に、可愛い娘よ”
清元「十六夜」ほか
27・28日 紀尾井シンフォニエッタ東京
第53回定期演奏会
指揮: ゲルハルト・ボッセ
曲目: モーツァルト「アダージョとフーガ
八短調K.546」ほか

お問い合わせ・チケットのお申し込み先: 紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061 受付 10時～19時 日・祝休